

狛江古代カップ第33回多摩川いかだレース に美しい多摩川フォーラム号が出艇！



ゴール直後の美しい多摩川フォーラム号乗船メンバー5人と細野会長、当フォーラム会員
(乗船員は、ダニエル・カール副会長、オリンピック・清水希容さん、平林狛江副市長、平岡副会長、石川運営委員)

2025年7月20日(日)、狛江市の夏の風物詩である「狛江古代カップ第33回多摩川いかだレース」が、狛江市の多摩川五本松～宿河原堰手前(約1.4キロメートル)のコースで開催され、新潟県、山梨県、千葉県、埼玉県、神奈川県、都内や地元狛江市を含む1都5県18地域から89チームが参加して優勝タイムを競い合いました。

イベント当日は、梅雨明け直後の快晴に恵まれ、会場ではカラフルで個性豊かな「いかだ」89艇が所狭しと並び、参加者の熱気であふれていました。開会式では、松原狛江市長が主催者を代表してご挨拶された後、当フォーラムの細野会長が来賓として挨拶しました。続いて当フォーラムのダニエル・カール副会長(いかだレースキャプテン)とスペシャルゲストの清水希容さん(2021年 東京オリンピック空手女子形 銀メダリスト)が選手を代表して選手宣誓をおこない、大会の安全を誓いました。

美しい多摩川フォーラム号は15年連続で参加し、今回も第1レースに出艇しました。石川運営委員のリズミカルな笛の合図に合わせて好調なスタートダッシュ。しかし序盤の川の淀みで、力強く漕ぎつづけなければ思うように船が進まず、またレース中盤以降は向かい風により、船を降りて後ろから押す場面も。その際にダニエル・カール副会長の肩の高さまで水深が上がってしまいレースに暗雲が立ち込めます。それでも何とか態勢を整えて、船をこぎ続け、無事にゴールすることができました。結果は、総合順位が43位(前回は23位)、タイムは26分42秒(前回は18分52秒)となり、第33回大会特別賞をいただきました。

美しい多摩川フォーラムでは、来年も参加し、多摩川いかだレースを大いに盛り上げ、多摩川中下流域でのフォーラム会員の拡大や知名度アップ等に繋げていきたいと考えています。

イベント当日の様様



スタート地点の多摩川五本松。
33回目の今年も快晴に恵まれました。



会場には89艇のカラフルないかだが
所狭しと並びます。



松原粕江市長から開会のご挨拶がありました。



細野会長より来賓の挨拶がありました。



ダニエル副会長と清水希容さんによる選手宣誓が
おこなわれ、いよいよレースがスタートします！



重たいいかだをみんなで協力して岸边まで運びます。



美しい多摩川フォーラム号は第1レースに出艇。
いよいよレースがスタートします！



石川運営委員の笛の合図に合わせて、
好調なスタートダッシュ。



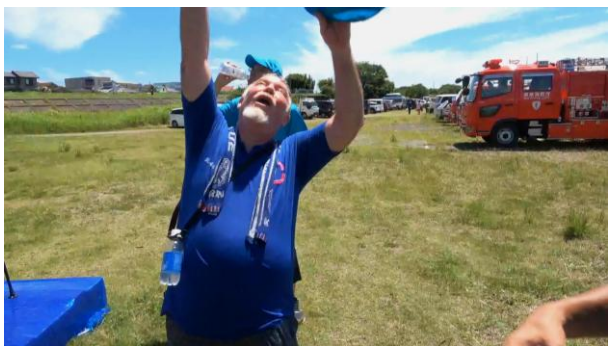
レース中盤以降は向かい風により、船を降りて後ろから押す場面も。



急に水深が深くなり、肩まで川に浸かってしまう
ダニエル・カール副会長。



その後は態勢を整えて、無事にゴール！



急に水深が深くなってビックリしたが、川が冷たくて気持ちよかった！と語るダニエル・カール副会長。



レース終了後、ゴール付近に設けられたバーベキュー会場で、労をねぎらいながら関係者で乾杯。



表彰式のステージにはダニエル・カール副会長と石川運営委員が登壇し、会場を大いに盛り上げつつ、第33回大会特別賞をいただきました。「みんな、来年も頑張っぺ！」